

# 平成11年度事業報告

## 1. 事業の状況

### (1) 基本方針

本年度の基金の運用環境は、年初の予想どおり低金利政策の持続に加え金融債（年利4%）10億円の期央期日の到来もあったが、その償還元本分の金利低下防止に努力した結果、ほぼ計画通りの基本財産運用収入を確保できた。加えて、期中個人寄附金（運用財産）1,000万円の受入があり、その分が収入面で計画比大幅な増収となった。

一方支出においては、人件費、事務管理費の圧縮に努めた結果、支出はほぼ計画内におさまった。また助成事業については、おおむね計画どおり 件数 25件、助成金額 2,492万円（計画値 25件、2,759万円）の助成金交付を実施した。

（計画値との差額、P.N助成 △267万円 → 次年度へ繰越）

## 2. 事業の内容

(1) 国内の活動助成関係	10件	821万円
(2) 国内の調査研究助成関係	7件	567万円
(3) 海外の調査研究助成関係	8件	1,104万円
(1)～(3) 合計	25件	2,492万円

### (4) その他の事業関係

イ. 「北方四島の自然」の写真展の開催（平成10年度当基金助成事業）

主 催：北方四島自然問題協議会

時 期：平成11年9月1日～30日

会 場：地球環境パートナーシッププラザ（渋谷区神宮前国連大学1F）

ロ. (財)日本野鳥の会国際センター主催のシンポジウム開催

テーマ：「北方四島の自然を考える」

日 時：平成11年 9月28日 18:00～20:30

会 場：地球環境パートナーシッププラザ

出席者：65名

ハ. 第5回P.N.ファンド助成成果発表会の開催

共 催：(財)日本自然保護協会

日 時：平成11年12月11日 10:40～18:30

会 場：こどもの城（渋谷区神宮前）

出席者：約70名

ニ. 北方四島自然保護区等位置図製作（当基金独自出版事業）

地図の仕様：縮尺 1/500,000

色数 1色刷り

規格 B4版2面

印刷枚数 500枚（予定）

作成予算 500,000円

# 平成11年度収支計算書

平成11年4月1日から平成12年3月31日まで

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
<b>1. 収入の部</b>				
1. 基本財産収入	0	0	0	
2. 基本財産運用収入	45,275,000	48,659,216	△ 3,384,216	
3. 運用財産収入	0	10,000,000	△ 10,000,000	寄付金収入
4. 運用財産運用収入	25,000	42,779	△ 17,779	
5. 雑収入	0	49,489	△ 49,489	
当期収入合計 (A)	45,300,000	58,751,484	△ 13,451,484	
前期繰越収入差額	6,916,296	6,916,296	0	
収入合計 (B)	52,216,296	65,667,780	△ 13,451,484	
<b>2. 支出の部</b>				
1. 事業費	28,590,000	26,138,337	2,451,663	P.N.助成次年度へ繰越(2,759千円)
国内活動助成金	7,500,000	8,210,000	△ 710,000	
国内調査研究助成金	14,090,000	5,670,000	8,420,000	
海外調査研究助成金	6,000,000	11,040,000	△ 5,040,000	
人材育成助成金	0	0	0	
調査研究委託助成金	0	0	0	
事業管理費	1,000,000	1,218,337	△ 218,337	
2. 管理費	16,000,000	16,363,278	△ 363,278	
人件費	10,000,000	10,170,121	△ 170,121	
事務費	6,000,000	6,193,157	△ 193,157	3年度減価償却費を含む
3. 特定預金支出	400,000	400,000	0	
退職給与引当金支出	400,000	400,000	0	
4. 予備費	500,000	0	500,000	
当期支出合計 (C)	45,490,000	42,901,615	2,588,385	
当期収支差額 (A)-(C)	△ 190,000	15,849,869	△ 16,039,869	
次期繰越収支差額 (B)-(C)	6,726,296	22,766,165	△ 16,039,869	

# 正味財産増減計算書

平成11年4月1日から平成12年3月31日まで

(単位：円)

科 目	金 額		
<b>I. 増加の部</b>			
(1) 資産増加額			
当期収入差額	15,849,869		
退職給与積立預金	400,000	16,249,869	
増加合計額			16,249,869
<b>II. 減少の部</b>			
(1) 負債増加額			
退職給与引当金繰入額	400,000	400,000	
減少額合計			400,000
<b>当期正味財産増加額</b>			<b>15,849,869</b>
当期期首正味財産額			2,006,916,296
期末正味財産合計額			<b>2,022,766,165</b>

# 貸借対照表

平成12年3月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額	
<b>I. 資産の部</b>		
1. 流動資産		
現金・預金	14,049,646	
未収収益	13,257,805	
MMF（野村）	7,002,793	
流動資産合計		34,310,244
2. 固定資産		
(1) 基本財産		
有価証券	2,000,000,000	
基本財産合計	2,000,000,000	
(2) その他固定資産		
什器備品	563,401	
電話架設権	149,968	
退職給与積立預金	2,800,000	
その他固定資産合計	3,513,369	
固定資産合計		2,003,513,369
資産合計		<b>2,037,823,613</b>
<b>II. 負債の部</b>		
1. 流動負債		
未払金	12,144,000	
預り金	113,448	
流動負債合計		12,257,448
2. 固定負債		
退職給与引当金	2,800,000	
固定負債合計		2,800,000
負債合計		<b>15,057,448</b>
<b>III. 正味財産の部</b>		
正味財産		2,022,766,165
(うち基本金)		(2,000,000,000)
(うち当期正味財産増加額)		(15,849,869)
負債及び正味財産合計		<b>2,037,823,613</b>

# 財産目録

平成 12年 3月 31日現在

(単位：円)

科 目	金 額		備 考
<b>I. 資産の部</b>			<b>2,037,823,613</b>
1. 流動資産		34,310,244	
①定期預金	10,000,000		
②普通預金			
さくら銀行渋谷支店	3,876,544		
三井信託銀行渋谷支店	145,049		
③現金	28,053		
④未収収益	13,257,805		基本財産運用収入
⑤MMF(野村)	7,002,793		
2. 固定資産		2,003,513,369	
(1)基本財産			
①事業債	1,700,000,000		明細別紙
②利付長銀債	300,000,000		
(2)その他固定資産			
①什器備品	563,401		
②電話架設権	149,968		
③退職給与積立預金			
三井信託銀行渋谷支店	2,800,000		金銭信託
<b>II. 負債の部</b>			<b>15,057,448</b>
1. 流動負債		12,257,448	
①未払金	12,144,000		事業費
②預り金	113,448		源泉所得税・社会保険
2. 固定負債		2,800,000	
①退職給与引当金	2,800,000		
正味財産 合計 (I - II)			<b>2,022,766,165</b>

# 平成12年度事業計画

## (1) 基本方針

本年度の国内経済情勢は大型財政予算支出の効果もあり、景気は徐々に回復基調にあるものの、設備投資、雇用、消費等未だ不安要素も多く、加えて円高の影響による懸念もあり、特に年度前半期において景気回復力は弱く、今しばらくは不透明な状態が続くものと思われる。かかる情勢下、金利特に長期金利については、金利上昇の気配は少しあるものの、引続き景気浮揚のため、低金利政策が持続される見込みである。

本年度の当基金の基本財産運用については、前記超低金利環境の持続に加え、前期中の高利回り金融債の償還の影響もあり、運用利回り低下による若干の減収（約 150 万円）が生じる。一方支出面では事務管理費を節減（230 万円）することにより、事業費は2年ぶりに3,000 万円（前年予算額比 140 万円増）達成を目指す。

## (2) 事業の内容

### 1. 国内の活動助成関係

前年度同様国内外の自然保護団体との提携および協力により自然環境の保全に資する活動に対し助成金を交付する。

7件 800万円

### 2. 国内の調査研究助成関係

前年度同様各大学の自然保護関連学部、研究機関および（財）日本自然保護協会・（財）世界自然保護基金日本委員会をはじめ、国内外の自然保護団体との提携および協力により、自然環境の保全に関する調査研究に対する助成金を交付する。

14件 1,400万円

### 3. 海外の調査研究助成関係

本年度も引続き各大学の自然保護関連学部、研究機関および国内外の自然保護団体との提携および協力により、諸外国の自然環境の保全に関する調査研究団体および研究者を対象とする助成金を交付する。

7件 700万円

以上 1. 2. 3. の助成合計 28件 2,900万円

### 4. その他の事業関係

P. N. ファンド助成成果発表会を12月に開催の予定。

以上

# 平成12年度 収支予算書

平成12年4月1日から平成13年3月31日まで

(単位：円)

科 目	平成12年度予算額	平成11年度予算額	差 異
1. 収入の部			
1. 基本財産収入	0	0	0
2. 基本財産運用収入	43,795,000	45,275,000	△ 1,480,000
3. 運用財産収入	0	0	0
4. 運用財産運用収入	35,000	25,000	10,000
5. 雑収入	0	0	0
当期収入合計 (A)	43,830,000	45,300,000	△ 1,470,000
前期繰越収入差額	22,766,165	6,916,296	15,849,869
収入合計 (B)	66,596,165	52,216,296	14,379,869
2. 支出の部			
1. 事業費	30,000,000	28,590,000	1,410,000
国内活動助成金	8,000,000	7,500,000	500,000
国内調査研究助成金	14,000,000	14,090,000	△ 90,000
海外調査研究助成金	7,000,000	6,000,000	1,000,000
人材育成助成金	0	0	0
調査研究委託助成金	0	0	0
事業管理費	1,000,000	1,000,000	0
2. 管理費	13,700,000	16,000,000	△ 2,300,000
人件費	7,600,000	10,000,000	△ 2,400,000
事務費	6,100,000	6,000,000	100,000
4. 特定預金支出	1,000,000	400,000	600,000
退職給与引当金支出	1,000,000	400,000	600,000
5. 予備費	300,000	500,000	△ 200,000
当期支出合計 (C)	45,000,000	45,490,000	△ 490,000
当期収支差額 (A) - (C)	△ 1,170,000	△ 190,000	△ 980,000
次期繰越収支差額 (B) - (C)	21,596,165	6,726,296	14,869,869